

つゆひよ

マジオネーム：インハイ外角低

そこちでも元気にしてんか？ つゆひよじゃなら天国でも野球ばっかり  
つゆひよだな。

俺は社会人10年目、特に何も目標もななく、とりあえず生きてるって感じかな。  
でも病気とはついてなくて、身体は健康。

この間、部屋を掃除していたら、高校生の時使っていたグローブが出てきて  
懐かしくなってる。この手紙を書こうと思ったんだ。

そもそも、俺とお前の出会いは小学生の時の少年野球だったな。

出会った当初は、俺がよくお前に対して、「つゆひよ、ななつこう

名前なら、野球よりもサッカーの方が合ってるだろう。「何て、いじったりして  
たっけ？ そんな俺のいじりに対し、つゆひよはいつも「俺は、いずれこの名  
前に見合っような、シユートボールの使い手になってバッターをねじ伏せる」  
その意気込んでいたよね。

そんな言葉を体現するかのやない、つゆひよはほんと有名なピッチャーに  
なってるよ、あつひよの高校生の頃はシユートボールも投げらわねのやないにな  
っただね。

つゆひよのピッチャーとしての成長をキャッチャーとしての、近頃の見守らね  
すがい幸せだった！

そんなしゅうとが高校生最後の大会前に体調を崩して、そのまま天国にいつてしまうなんて、当時は受け入れるのに時間がかかったなあ。

結局そのまま、俺は高校で野球をやめて、それからというもの野球とは無縁の人生になってしまったよ。

そんな中、先日高校生のころ使っていたキャッチャーミットがでてきてさ、本当に色々な思い出が蘇ってきた。

本当に楽しかったよ。野球は俺の青春だった。

今ならはっきりわかるよ。「しゅうと」「っていう名前は、サッカーじゃなくて野球にぴったりの名前だったなってね。

また、お前とバッテリーを組んで、キシキシのシュートボールをミットでとりたいよ。

まだまだ先になると思っけど、天国で待っててな。

会ったらまた、キャッチボールでもしよう。